

菊池溪谷に生息する昆虫類

菊池溪谷は多様な植物と豊富な水源に恵まれているため、さまざまな昆虫が生息する環境となっている。1000 種以上が生息するといわれる溪谷の中でも、川沿いの遊歩道で比較的容易に観察できるのは次のようなものだ。

スギタニルリシジミ (*Celastrina sugitanii*) は、3 月から 5 月にかけて川沿いの水たまりの周辺で見られる小さなチョウだ。翅の表は紺色、裏は白っぽい灰色に小さな黒い点々がある。

5 月から 7 月にかけては、溪谷の花々に誘われて、**トラフシジミ**（翅の表は濃紺、裏は白と茶の縞模様にオレンジと黒の虎模様）、**イチモンジチョウ**（翅の濃紺に白帯）などが飛び交う。

また、4 月から 7 月頃にかけては、数種類のトンボが瀬の上を飛び、水生昆虫を捕食している姿が見られる。体長 5cm ほどの**カワトンボ** (*Mnais pruinosa*) は、エメラルドグリーンの体に鮮やかなオレンジ色からわずかに見える程度のグレーまでさまざまな色の翅を持ち、**ニホンカワトンボ** (*Mnais costalis*) はメタリックブルーの体にやや暗めのオレンジ色の翅を持つ。

夏の終わりの水たまりや小さな川辺の淵には、**ミヤマカラスアゲハ**という、翅を広げると 12cm ほどの大きな蝶がいる。翅の表側は黒く、青や緑の虹色の鱗粉で覆われている。